

学校だより

令和4年8月29日

横浜市立菅田の丘小学校

校長 若山 京子

8・9月号

〔葉月 August〕

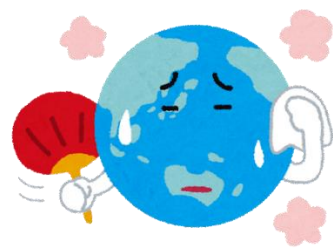
〔長月 September〕

「みんな花笑み」

- 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子を育てます。
- 「徳」 自分を大切にし、互いの違いを認め合える子を育てます。
- 「体」 心身ともにたくましく生きていく子を育てます。
- 「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子を育てます。
- 「開」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子を育てます。

失敗を恐れずに

校長 若山 京子



夕暮れ時の虫の声に、秋の気配を感じる頃となりましたが、今年の夏の暑さは大変厳しいものでした。日本気象協会は、最高気温が40℃以上の日を「酷暑日（こくしょび）」、夜間の最低気温が30℃以上の夜を「超熱帯夜（ちょうねったいや）」と呼ぶことを独自に決めたという報道が今月初めにありました。いよいよ体温を上回るような過酷な暑さが珍しくないという時代になってしまったようです。気候変動の影響で北日本を中心に長く続いた災害級の大雨からも、地球温暖化が確実に進んでしまっていることを痛感しました。近い将来、太陽の下で元気に駆け回ることができなくなる夏になるかもしれません。温暖化を食い止めるため、節電やごみの分別など、小さなことでもできることを、子どもたちとも考えていきたいと深く思いました。

さて、長い夏休みが終わり、子どもたちが元気に学校に戻ってきました。長い休暇の後には、私もそうですが、大人の皆さんでも仕事に復帰する際に気合いが入るのではないのでしょうか。子どもたちも学校生活のリズムを取り戻すためには、少しエネルギーを必要とします。お子さんが早寝早起きを心がけ、朝ごはんをしっかり食べて学校に登校できるよう、保護者の方にはご支援をお願いいたします。また、夏の疲れが出たり、心が不安定になったりしやすい時期でもあります。学校でも子どもたちの様子に気を配り、注意深く見守ってまいります。

今年は制限のない夏ということで、旅行や帰省、イベントなど外出を楽しんだ子が多いのではないのでしょうか。子どもたちはこの夏にたくさんの経験をしたことと思います。その経験を糧に、これからの学校での活動にも力一杯取り組んでほしいと考えます。取り組んでいく中には、失敗することもあると思いますが、失敗を恐れずにチャレンジし続けることが大切です。7月下旬にオレゴンで開催された世界陸上で、北口棒花選手が女子やり投げで初の銅メダル獲得の快挙を成し遂げました。北口選手は、決勝1回目の投てきで3位につけていた成績でしたが、回数を投げるうちにプレッシャーで失敗の投てきが続ぎ、5位にまで落ちてメダル圏内を離れてしまいました。けれども、6回目の最終投てきで「自分の最大の力を発揮するだけだ」と集中し、見事逆転で、銅メダルを獲得しました。失敗が続くと、焦り、不安が強くなり、投げ出したくなるのは、当然のことです。けれども、お笑い芸人の言葉でも聞きますが「やればできる」の気持ちをもつことが大切で、子どもたちには、まず挑戦してほしいと思います。それを、私たち教職員一同、全面的に支えていきたいと考えています。今後、5年生の宿泊体験学習を皮切りに、修学旅行、校外学習、運動会など、様々な行事や活動が予定されています。その他、日々の学習や生活においても、子どもたちが失敗を恐れることなく、挑戦し続ける姿を見せてくれることを期待しています。

まだまだ、残暑が厳しい毎日が予想されます。熱中症にも現在進行形のコロナ感染状況にも十分に心を配りながら、教育活動に取り組んでまいりますので、保護者、地域の皆様には今後ともどうぞご協力・ご理解をよろしく願います。

